



読者アンケート のお願い

※勝手ながら二次元バー
コードをご利用できる
皆さまへのアンケート
となります。ご理解の
ほどお願いいたします。



ネグロスタイムズをお読みいただきありがとうございます。当社と皆さまを繋ぐ懸け橋となることを使命に編集に努めております。ご感想、ご意見をいただきたく、アンケートのページを用意させていただきました。より良い誌面づくりにご協力ください。



ネグロス電工株式会社

〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-40-1
TEL: 03-5628-7111 <https://www.negurosu.co.jp/>



印刷工程でグリーン電力
(300kWh相当)を
利用しています。

NEGURUSU TIMES 2022 令和4年5月27日発行 発行所ネグロス電工株式会社



NEGURUSU
TIMES
2022



事業を通じた社会貢献、働き方改革、働く学生の支援などを紹介するPRマガジン

皆さまに支えられ75周年

03
THIRD ISSUE

利他主義

創業時に日本の復興のために亡き戦友の分まで働こうとした決意の表れ。自己の利益よりも他者の利益を優先する考え方。反対語・利己主義

諸君の意見を まっつて

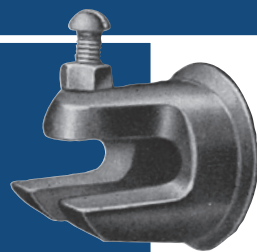
今後の発展のためには経営に複眼的な視点が必要であると考えた創業者は、長期的な経営視点での「未来申告室」の設立が必要と提言し、その是非に関する意見を社員から広く募った。



今まで両親を含めた方々から恩恵を与えられてきた「借り方人生」だったが、社会人になったからには、その恩恵を与えられる「貸し方人生」ができる人間になりなさいと、学生から社会人になった社員に創業者が説いた言葉。

お客様 あつての 企業

「企業はお客様ありて成り、奉仕ありて価値あり」を社是のひとつとし、企業はお客様があつて成りたち、私達の給料はお客様が払ってくださるということを常に説いた。



もしあの時……

「もしあの時、なにかが違っていたら私はここにはないかもしれない。戦友が身代わりの犠牲となって生かされてきたのだ」と戦時中を回顧し、自身の背後には亡き戦友がいる、その分まで国のため、皆のために働こうという決意が常に創業者にあった。



運・鈍・根・感・間 を諸君に贈る



運は運命、鈍は鋭くないこと、根は根気、感はインスピレーション、間は時間を意味しており、創業者がこれらの備わった社員になってほしいと願い、自身の処世観を語った言葉。

NEGUROSU IDENTITY

75年の礎

ネグロス電工はおかげさまで記念する本号では、SDGsと創業者菅谷政夫が我々に託した

創業75周年を迎えました。通ずる利他の精神をはじめ、メッセージを振り返ります。



今こそ精神文明の復活を

(日本の現状は)戦後の幸福感とは物質的な豊かさに偏重する考え方で、精神面の充実を軽視している傾向になってきたことを憂いた言葉。物質的な喜びではなく、精神的な充足を求めべきだと説いた。

後工程はお客様

自身の後工程を担当する従業員も、社外のお客様と同様に扱うべきであると考え、常に周りに気を配り、仕事をしてほしいと願った。

五省作戦

人間は ぶらんこ 人生



ぶらんこはすぐには大きく振れない。大きく振るためには一回一回の踏み込みが必要である。私たち人間の成長も同じで、日々の努力・勉強の積み重ねが大切だという例え話。



- 会社としての成長と地球の未来を案し、
 - 一、省資源省エネルギー作戦
 - 二、省コスト作戦
 - 三、省人・省力作戦
 - 四、省資本作戦
 - 五、省公害作戦
- の五省作戦を掲げ、地球環境のために尽力した。

製品から 商品へ

開発者目線で産み出された「製品」のままではなく、さらに試行錯誤を加えお客様がより喜んで使ってくださるような「商品」に育てていこうという創業者の志。



目に見えない“縁”という糸

さまざまな土地、事情があるものが当社に集まったことは運命的な縁があったに違いない。会社発展のために、お互いの縁を大切にしていってほしいと新入社員に対して創業者が送った言葉。

喜働

喜んで働く。喜んで働くことで効率がアップしスムーズに事が運ぶ。喜働は幸福の一步である。

新型コロナウイルスの感染拡大から2年以上が経過しました。今もってコロナ終息のめどが立たないなか、世界各国ではコロナとの共存の道を探り始めています。

世界中に影響を及ぼした新型コロナウイルスは日本の製造業の問題を浮き彫りにしました。

コロナショックによる影響がサプライチェーンの分断を招き、届かない部品が理由で製品生産ができず、企業の業績に大きな影響を及ぼしています。この教訓からサプライチェーンの再構築が始まり、国内生産への回帰が相応に行われることが予想され、今後は設備投資も期待されます。一方で原材料の価格高騰や材料不足・部品不足の傾向は今後も続く可能性が高く日本の製造業に大きな影を落としています。依然として先行きの見通しが難しい状況ではありますが、ピンチをチャンスに変える大胆な成長戦略が企業の未来を左右する局面に来ていると感じております。

ネグロス電気「SDGs宣言」を発表

2015年に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が国連サミットで全会一致で採択されました。その中に盛り込まれたSDGsは2030年までに貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など持続可能な世界を実現するためのゴールが定められています。

新型コロナ感染の影響が続くなか、その対応策で大きな鍵を握るのはこのSDGsであることに間違いありません。コロナによるパンデミックが起こった今だからこそ、SDGsの存在意義がより一層増し、先の見えない不透明な世界で生き抜くためのこれだけは確実にといえる道標、目印になるのです。

このような考えのもと、当社は持続可能な国際社会の実現をめざして「SDGs宣言」を発表いたしました。

新型コロナによって浮き彫りとなった多くの問題、同様に新型コロナによってもたらされた新しい世界への対応、そして、パンデミックのみならず違う形で襲ってくるであろうさまざまな危機を前に、私たちは今何をすべきなのか、その決意をSDGs宣言という形で発表し、微力ながら社会に、世界に、そして地球に貢献していきたいと考えています。

「ネグロス電気環境ビジョン」

SDGsが目標とする「持続可能な世界」は地球環境の保全と利用、そして自然との共存が実現できる世界に他なりません。しかし、地球温暖化によってもたらされた気候変動の問題は、SDGs(目標13)においても「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」とあるように、もはや長期的な課題ではなく、影響が顕在化している今、すぐにでも取り組まなければならない緊急の課題であるといえます。また、2015年のCOP21において合意された「パリ協定」でも、GHG排出量を減少させ、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて1.5度に抑える努力をするという目標が掲げられました。

当社は深刻化する環境課題に対して全社を挙げて取り組むため、また持続可能な社会実現に向けた当社のありたい姿を示すものとして「ネグロス電気環境ビジョン」を策定しました。従業員一人ひとりが自身の仕事において環境との関わりを強く意識し、「商品を通じた環境負荷低減」「気候変動への対策」の2つの課題を掲げて2040年までの実現をめざして取り組んでまいります。

「健康経営」を実現

当社が1962年に発表した社是の一文「企業は人にあり」の基本理念にあるように、人こそが企業にとっての礎であり、最大の財産であると考えています。

会社が力強く成長するには、従業員一人ひとりが元気でイキイキと働き、個々の能力を最大限発揮することがとても重要です。それを実現するためには、従業員の健康維持や健康増進を経営的な視点で考え、戦略的に実践しなければなりません。

当社は2019年度に健康経営委員会を発足し、経営者が中心となる組織体制を整え、従業員の健康管理・健康づくりに向け積極的な活動を続けてきました。その結果、活動に評価をいただき「健康経営優良法人(大規模法人部門)」の認定を2年連続で受けています。今後も当社の従業員、従業員のご家族が豊かで健康的な生活を送れるよう会社が主体となって従業員の健康課題に取り組んでまいります。

SDGsがめざす世界の実現のために
ネグロス電気は挑戦を続けます

『すべての人が自分らしく
幸福に生きる社会』



ネグロス電気株式会社
代表取締役社長

菅谷 三樹生

皆さまに支えられて75周年

75th Anniversary

昭和の創業から現在の繁栄まで、支えてくださった方々からお話をお聞かせいただきました。
わたしたちは創業の精神「利他主義」の下、皆さまとともにこれからも歩みつづけます。



佐藤会長(右)と社長の菅谷(左)

忘れてはならない「ネグロスのこころ」

ネグロス電気株式会社様におかれましては、このたび創業75周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

貴社は、昭和22年6月ネグロス協電社として、創業者である故菅谷政夫氏が24歳という若さで事業を起されました。フィリピンにあるネグロス島での激戦をくぐり抜け、一割前後の生還者の一人として亡き戦友のためにもこの島での戦いを忘れなければ、どんな困難が待ち受けていても、きっと乗り切れるとの強い思いで創業されたと聞いております。敗戦で疲弊した日本の復興を誓った瞬間でした。

創業以来、常に業界においてトップをめざし、「顧客の利益」「社員の利益」「企業の利益」の実現を企業理念に掲げ、自社の事業発展のみならず、電機業界、地域社会の発展、青少年の育成にも大きく貢献されてこられました。

それはまた、「ネグロスのこころ」に通じ、「利他主義」を精神的なバックボーンとして「心」に重きを置いた経営を継続されています。「自分だけ」「今だけ」「金だけ」というような今日の風潮の中、忘れてはならない原則をしっかり受け継がれておられます。



株式会社 中北電機 会長
佐藤 正孝 様

弊社は、このたび67周年を迎えましたが、創業以来、貴社とともに歩ませていただいております。

さて、我が国の経済は、コロナ禍と、アメリカのインフレ抑止圧力の狭間で、厳しい経済状況を迎えております。半導体不足の長期化による出荷遅延、部材価格の上昇など、販売機会損失リスクの増大とともに、輸送コストの高騰等が日本経済に重くのしかかってきております。

そんな時こそ、「利他主義」を徹底し、ともに力を合わせ乗り切っていかなければならないのではないのでしょうか。

ネグロス電気株式会社様にとって、75周年は、創業100年に向かっての一通過点であり、今後も新しい時代の電機業界発展のために、ますます飛躍されるようご期待申し上げます。

終わりに、ネグロス電気株式会社様のますますの発展と皆さまのご健勝をご祈念しましてお祝いの言葉いたします。

お陰様をもちまして弊社は2022年6月に創業75周年を迎えることができました。これもひとえに、皆さま方のご支援とご愛顧の賜物と深く感謝いたしております。

さて、創業75周年を迎えるにあたりご祝辞を頂戴いたしました、株式会社 中北電機 会長 佐藤正孝様には重ねて厚くお礼申し上げます。ご寄稿いただきました通り、弊社「創業の精神」はこれと同様に経済・社会環境の如何なる変化があっても不変の弊社理念であり、守り継承していくことが私達ネグロス電気社員一同の使命であること、改めて確認させていただきました。

今年度弊社はSDGs経営の推進を掲げ、社内に向け社長の菅谷から「ネグロス電気 SDGs宣言」を発表いたしました。テーマは「創業の精神である利他主義に基づき、ものづくりを通じて持続可能な社会の構築に貢献する」といたしました。これはコロナ禍の影響を受け市場の縮小、物不足、軍事侵攻問題等、いずれも不透明で出口の見えない逆境の中でも、持続可能な経営を実現し社会貢献を実行していくという弊社の決意の表れです。

弊社一丸となり、真剣に取り組んでまいります。結びとなりますが、「あったら良いな」「あると便利」電気設備工事の省力化、省人化商品の開発・販売を通じて、これ迄の貴社のご厚情にお応えするとともに、微力ながら業界の発展に尽力してまいります所存です。

今後とも倍旧の御支援、御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ネグロス電気株式会社 営業本部取締役
上村 隆男



金杯に乾杯

ネグロス電気株式会社様におかれましては、このたび創業75周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

弊社とは1980年から作業工具をメインにお取引を開始いただき、今年で42年目になります。この間お取引開始当初からの工具も含め、数々のロングセラー製品を市場に送り出していただいております。

私は創業者様をはじめ御社の皆さまとは数々の思い出があるのですが、中でもとりわけ思い出深い出来事をご紹介します。今年からさかのぼることちょうど12年、前回の寅年である2010年1月6日に、私は御社に年始のご挨拶に伺いました。その際迎えていただきましたのは、今は亡き前社長様、そして当時は専務様で現社長の菅谷三樹生様でした。挨拶もそこそこに、同席されていた課長様に何やら命じられて、課長様が別室からお盆にのせて運んでこられたのが、なんと金杯とビールでした。ずっしりと重量感のある金杯にキンキンに冷えたビールで乾杯をいたしまして、その時にこのような話をされました。「この金杯は吉兆の印なので今年は必ず良い一年になりますよ」と。前年はリーマンショックが抜けきらず厳しい年であっただけに、そのお心遣いに深く感動し前向きな気持ちがふつふつと湧いてきたのを、今もはっきりと覚えています。

近年の御社のネグロス島での現地に根ざした活動や



KTC「nepros」ポータルサイト <https://ktc.jp/nepros/>

75周年 支えてくださった皆さまへ

(株)中北電機 佐藤様、京都機械工具(株)宇城様、当社広報誌「ネグロスタイムズ」に寄稿をいただきありがとうございました。おかげさまで当社は6月1日に創業75周年を迎えることができました。

当社を今まで支えてくださったお取引関係各社様、他ステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。

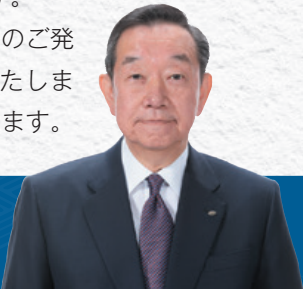
当社は、創業者である菅谷政夫が第二次世界大戦の折、フィリピン諸島ネグロス島の悲惨な戦闘下から生還者として帰国し、日本の復興のために亡き戦友の分まで働こうとネグロス協電社を創業したのがはじまりです。

ミキファームの活動などを見聞するにつけ、トップの方々の人を包み込むゆるぎない姿勢と、そして何よりも創業者様の「利他主義」の思想を脈々と受け継がれ、発展させておられることに心よりの敬意を表する次第です。

私共は創業以来工具を通じて安全・安心な社会の実現をめざして活動してまいりました。この理念はネグロス電気と全く共通するところであり、今後もしっかりとタッグを組ませていただき、その社会の実現と御社のご発展に全力でお応えしていく所存です。

結びに、ネグロス電気様のますますのご発展と皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

京都機械工具株式会社 取締役会長
宇城 邦英 様



このたびは、ご多忙中にもかかわらず、弊社広報誌「ネグロスタイムズ」の創業75周年記念特集記事の寄稿に対し、ご快諾いただきまして心より感謝申し上げます。

極々限られたメンバーしか知り得ない内容をもとに、同じ寅年という干支から、12年前のリーマンショック後の厳しい年に思いを巡らし、垂れこめていた暗雲を払拭すべく、KTC様と弊社のトップが吉兆の金杯で乾杯するエピソードをこの時期に選ばれたのは、さすが宇城会長と感服いたしました。

宇城会長は、ものづくり技術館 匠工房をKTC様本社工場内に設置され、各種イベントやワークショップの開催、工具の適切な使用方法をアドバイスするなどしてお客様と対話する機会を増やしてこられました。また、ブランド価値をさらに高めるために、同施設を新たな情報発信基地として活用されておられたこと、そこで得られたアイデアを商品化させる徹底された推進力が、「プロを唸らせる工具づくり」「本物のものづくり」であり、それがKTC様のフラッグシップモデル「nepros(ネプロス)」誕生にも繋がったことを熱く語っていただいた宇城会長の姿を思い出し、弊社もより熱意をもって取り組むことの大事さを痛感させていただきました。

今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

ネグロス電気株式会社 購買管理部取締役
佐々木 浩之



以来、先人たちのたゆまぬ努力により、電設資材の総合メーカーとして社会インフラに貢献し人々の生活を支え続け、社会の発展とともに成長してまいりました。

75周年を迎えるにあたって、創業の精神である「利他主義」に立ち返り、商品やサービスの品質を高めてお客様に喜んでいただけるよう、より一層努力していく所存です。

今後とも変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ネグロス電気株式会社 代表取締役社長 菅谷 三樹生

体験型の学べるショールーム、NBS名古屋がオープン

2021年12月6日、名古屋営業所内に、装い新たにNBS (Negurosu Business Showroom) 名古屋がオープンしました。「見て、聞いて、触れて、試せる」体験型へと生まれ変わったショールームをご紹介します。

NBS名古屋



営業本部 中部営業部
名古屋営業所 所長
脇 賢吾

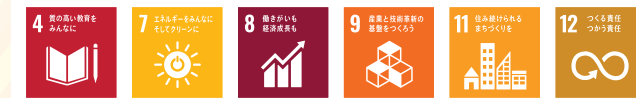
NBS名古屋のある東海地区は、ものづくりの伝統が受け継がれ、数多くの工場施設があります。ネグロス電工では、この東海地区において地域に密着した営業を展開し、多様な分野に顧客層を拡大してきました。名古屋営業所には以前より常設展示場を設けており、ネグロス電工の活動を訴求していましたが、展示パネル等も老朽化してきたことから、新たなショールームとしてリニューアルを計画しました。

プロジェクトチームは主管(営業本部 企画推進課)・運営(名古屋営業所)・制作(宣伝企画課・展示企画課)で構成され三位一体となって取り組みました。商品を見ていただくだけでなく、使い心地まで知っていた



ネグロス電工の歩みを世相とともに振り返る歴史ボードです。時代のニーズに即した商品開発の歴史を紹介しています。

きたい。研修やセミナーでも利用していただきたい。そんな営業の声から「現場を体感するショールーム」をめざすこととなりました。



こうして完成したNBS名古屋は、映像・音響設備を備えた「セミナースペース」、建設中の多彩な工事現場をリアルに再現し、商品を一望できる「プロダクトスペース」、創業から現在までの歴史をたどる「ブランディングスペース」の3つのエリアで構成され、お客様の目線に立って、当社の商品や技術を

深くご理解いただけるようになりました。ありがたいことにオープン直後からご来場いただき、地域のお客様の社員研修などにもご利用いただいています。今後は官公庁・設計事務所などへ向けた当社事業のご案内のほか、技術系スタッフのリクルーティングなど幅広い領域で活用していただきたいと思います。



1.現場をリアルに再現しているBOXエリアを常設。こだわりの展示に仕上げています。2.商品展示だけでなく実習スペースも設けることで「体験型ショールーム」へと生まれ変わりました。3.既設の壁をくり抜いて天井裏にあるネグロス商品がブラックライトで浮かび上がる展示はここにしかない演出です。4.セミナースペースも常設されているため勉強会や各種イベントなどにご利用いただけます。



営業本部 中部営業部
名古屋営業所
NBS名古屋 館長
山本 正倫

営業本部 中部営業部
名古屋営業所
NBS名古屋 副館長
山田 和弘



NBS東京・大阪

ネグロス電工では、名古屋以外に東京・大阪へもNBSを構えております。皆さまのご来場、心よりお待ちしております。

お問い合わせ 名古屋営業所 TEL:052-331-2381
東京中央営業所 TEL:03-3528-1700
大阪営業所 TEL:06-6573-7111



NBS東京



NBS大阪

健康経営による企業価値向上

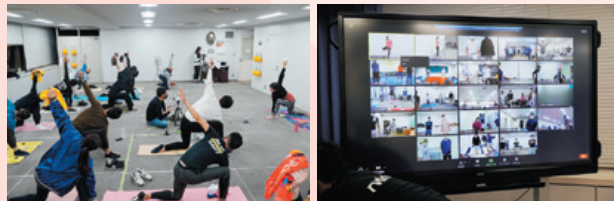
健康経営とは、従業員の健康維持・増進に関する取り組みを、将来的な業績向上・企業価値向上に繋がる「投資」としてとらえ、経営的な視点で考え戦略的に実践することです。

当社は2019年度に健康経営委員会を発足以降、従業員の健康管理・健康づくりに向け積極的に取り組んできました。2021年度は、【健康経営の推進:従業員が心身ともに元気に働ける企業をめざす!】を方針として掲げ、「運動機会の提供」「女性の健康」「禁煙」「健康診断の分析・活用」を主要4項目として活動してまいりました。

主要4項目の取り組みについて

01.運動機会の提供

従業員に運動機会とコミュニケーションの場を提供するため、「オフィスヨガ」を実施。月に1度、ヨガの講師を本社に招き、レッスンの様子を全国の事業所にライブ配信しています。肩こりや腰痛といったオフィスワーカーの悩みを改善するため、講師と打合せをしながら各レッスンの内容を決めています。また、「オフィスヨガ」は健康増進だけではなく、従業員同士のコミュニケーションや業務の円滑化にも役立っています。



「スポーツエールカンパニー2022」 に認定されました

当社は従業員の健康増進のため、野球やサッカーなどの競技に限らず、身体を動かしながら自由に楽しむことができる、体操やハイキングなど、幅広いスポーツ活動に積極的な取り組みを行っている企業として、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2022」に認定されました。

当社では、オフィスヨガの実施の他、毎朝の体操やストレッチ、クラブ活動の支援を行っています。

今後も従業員が継続的に楽しんでスポーツができるよう、さまざまな機会を提供していきます。



02.女性の健康

女性従業員を対象にしたアンケート調査をもとに、月経の不安を低減する取り組みの一つとして、会社内の女性トイレに生理用品を設置しました。

また、男性管理職者を中心に女性の健康課題について研修を行うなどヘルスリテラシーの向上を図り、女性の健康に関するアンコンシャスバイアスの払拭にも取り組んでいます。



HEALTH MANAGEMENT

従業員が心身ともに 元気に働ける企業をめざして

「健康こそが最大の経営資源」の考えのもと、生産性の向上・組織の活性化をもたらす

従業員の健康増進を進めることで業績向上に繋がっていきます。

03.禁煙

従業員の健康向上のために禁煙を推進しています。その一環として、「禁煙川柳コンテスト」を実施しました。喫煙者はもちろん、非喫煙者も参加することで、すべての従業員が「禁煙」に関心を持ち、楽しく取り組めるような雰囲気づくりをめざしました。また、「禁煙タイム」を導入し、全事業所にポスターを掲示、社用車にもステッカーを貼り付けるなど周知を図っています。



コンテストで受賞した作品は、禁煙川柳ポスターとして全国の事業所に掲示されています。



04.健康診断の分析・活用

健診結果管理システムを導入し、健康状態の可視化、効率的なデータ集計と分析、健康情報の一元管理を可能にしました。

また、二次健診や特定保健指導の対象となっている高リスク者に対し、健診の実施を徹底管理・推奨しています。合わせて産業医や保健師による細かなケアを実施しています。

産業医、産業保健師によるサポート

産業医による健診後の面談や職場巡回によって従業員の健康管理や快適な職場環境の構築をめざしています。さらに、産業保健師を採用することで、作業環境のチェックや従業員の心身のケア、安全衛生や健康経営のアドバイザーとしての役割を担うなど、多忙な産業医だけでは対応が難しい細かなフォロー体制を確立しています。産業医と産業保健師の連携に、当社の健康担当者が加わり緊密なトライアングルを形成することで、相互扶助体制を確立し細かな健康管理、安心して働くことのできる職場環境づくりへと繋がっています。

2年連続大規模優良法人に認定

当社は昨年に続き2年連続で、健康経営優良法人(大規模法人部門)に認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、優良な健康経営を実践している企業を認定している制度です。



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

数字で見るネグロス電工

社会やステークホルダー、環境とともに歩むネグロス電工の「いま」を数字で紹介します。

事業の数字

01

創業年数

1947年・2022年

75年

75
ANNIVERSARY
1947-2022

03

総従業員数

男性:1,161名、女性:288名

1,449名

環境の数字

01

CO₂排出量

10,226 t-CO₂(2013年)

7,940 t-CO₂(2020年)

22%削減

02

電気使用量

13,311千kWh(2013年度)

11,119千kWh(2020年度)

16%削減

03

2020年度
省エネ法
事業者クラス分け
評価

6年連続

Sクラス

[Other years]

2020年…376.2億円
2019年…411.9億円
2018年…361.7億円
2017年…335.5億円

02

売上

2021年

377.3億円

[Other values]

平均年齢…39.2歳
平均勤続年数…15年
有給休暇取得率…72.2%
月平均残業時間…11時間
男性の育児休暇取得率…20%
障がい者雇用率…2.41%

社員の数字

01

休日の過ごし方

「その他」の内訳TOP3

- 1.映画・TV・ドラマ・動画鑑賞
- 2.家族と過ごす・家でゆっくり
- 3.ゲーム

[Others]

家庭菜園…5%
手芸・ハンドクラフト…2%
その他…50%

運動・
トレーニング
43%



02

ストレス解消法

[Others]

睡眠…30% 運動…22%
家でカラオケ…1%
その他…16%

テレビ・動画鑑賞、
インターネット・SNS

31%



03

ニューノーマルに
よって得た気づき

その他は、友人、自宅など。
全体的に身近なもの・ことの
大切さに気づいたようです。

[Others]

家族の大切さ…19%
お金・貯金…17%
近場の魅力…10% 無し…10%
その他…4%

健康の
大切さ

40%



04

キャッシュレス
決済方法

[Others]

QRコード支払い…26%
交通系IC…15%
QUICPay・iD・楽天Edy…8%
利用していない…10%

クレジット
カード

41%



05

ネットショッピング
時の利用サイト

[Others]

楽天…26%
利用しない…16%
Yahoo! ショッピング…7%
その他…4%

Amazon

47%



06

ネットショッピング
で買うもの

その他は、キャンプ用品の購
入が多く、コロナ禍で密を避
けるため屋外イベントが人
気のようです。

[Others]

衣類…15% 電化製品…14%
食料品・飲料…10%
その他…9%

日用品・雑貨

52%



BUSINESSES 宣伝企画課

時代とともに
ネグロス商品PRを築いた立役者

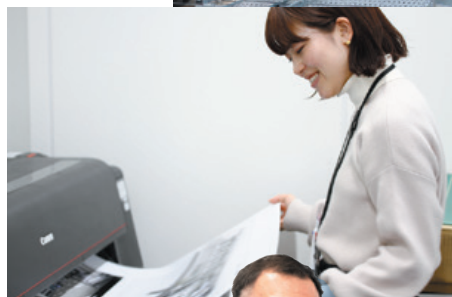
～宣伝企画課の飽くなきチャレンジ～

セールスプロモーションの
担い手として

宣伝企画課では、ネグロス電工の商品をカバーするカタログ、チラシに加え、梱包資材や取扱説明書、社内掲示物や営業サポートツールなどの多岐にわたる販促用ツールを企画・制作しています。近年では、商品を紹介するYouTube動画や、WEB広告、WEBカタログ・データベースなど、新たなコンテンツの作成にも取り組んでいます。

宣伝企画課の特徴は、専門の制作会社に匹敵するほどの、多彩な制作機能・機器を有しているところです。販促ツールの企画・立案から、デザイン、DTP用データ加工・編集、動画の撮影・編集、WEBコンテンツの制作・編集、そして制作全般の進行管理まで、一貫した制作プロセスをほぼ内製化できる体制を構築しています。業務管理、企画、制作の3グループ総勢13名のスタッフが高度なスキルを発揮して、お客様にいち早く、正確な商品情報をお届けする使命感を持って、日々の業務を遂行しています。

スタッフ自らが企画した商品PR動画を撮影、編集作業も行っています。



出力はB0サイズまで対応。原寸イメージの共有や原稿確認に役立っています。

技術支援部
宣伝企画課
課長

古川 直紀



紙・動画・WEBと多彩な制作スキルを駆使して商品PRの根幹を支えます。

時代に即して
コンテンツの多様化を推進

高度な制作スキルの原点には、「何でも自分たちでやろう」というネグロス電工のチャレンジ精神があります。1977年に発足し、カタログ版下の切り貼りから活動をスタートし、その後、製版機などを導入して印刷用フィルムの制作までカバーしました。1990年代には商品紹介動画の制作も開始。1997年には時代の幕開けを先取りしてMACを導入し、2000年に早くもDTP制作によるカタログを完成させました。

2010年以降はWEBコンテンツの本格的な運用を手がけるようになり、YouTubeでの動画配信、紙媒体のWEB化、SNSによる情報提供などを推進しています。2年前にはカタログ情報をすべて網羅した商品情報サイトも完成、お客様のアクセス数も日々増加しています。WEBコンテンツの活用拡大によるペーパーレス化は、SDGsの取り組みにも繋がります。

これからも、チャットやAI、3D、Eコマースなど新たな技術やサービスの導入も視野に入れながら、時代とお客様のニーズに沿ったWEB環境を整備していく考えです。

BUSINESSES 営繕課

長きにわたり、建物を
円滑に維持・管理していくために

～長期的視野に立つ営繕課の日常活動～

建物のトラブルを未然に防ぐ

営繕課は、自社の全国の工場、オフィス、倉庫などの建物の維持・管理に携わっています。「60年持たせる建物の維持管理」を基本コンセプトに、4名のスタッフで建物の傷んだ部分の改修をはじめ、多様な領域・地域に広がる業務をカバーしています。2017年設立の若い組織ながら、これまで密度の濃い業務を手がけ、多くの経験を積み重ねてきました。



古くなった建物を修繕していきます。

一口に「60年持たせる」と言っても、その取り組みは容易ではありません。建物に重要な改修が必要となるサイクルは約15年。60年持たせるには最低でも3回の大規模改修が必要です。営繕課では建物の総合評価から始め、必要な改修工事を5段階に分けて見える化し、建物のトラブルを未然に防ぐための工事を計画的にスタートしました。これらは長期的な視野に立つ息の長い取り組みであるものの、日常的には細かい作業の積み重ねです。営繕課は日常業務を地道に実践し、ネグロス電工の建物を守り続けています。

大規模修繕後の
外観検査の様子。
細部にわたり確認を実施します。



経営企画部
営繕課 課長

土屋 健

環境配慮・事業継続・
従業員エンゲージメントの視点から

日々の改修と並行して、環境に配慮した活動も強化しています。その一つが照明のLED化と高効率エアコンへの置き換えです。経済産業省の補助金対象事業であり、多くの企業が外注する案件ですが、手探りながらも申請から導入まで自社で対応した結果、得難い経験を積むことができました。LED化・エアコン交換は省エネ効果も高く、CO₂排出量の低減にも大きく貢献しています。また大規模改修の機をとらえて、倉庫などの折板屋根の塗料を、遮熱性の高いタイプに塗り替える取り組みも推進。夏季の室温上昇を抑え、作業環境改善・熱中症予防・空調設備の省エネを導くなど効果が出ています。

さらにトイレ改修や、遊休施設を生かした従業員向けのフリースペース構築なども行っています。



遮熱塗料によって
室温上昇を防ぎ省
エネ効果に貢献し
ます。



「社員の声」からト
イレ改修工事を実
施しました。

営繕課では今後、新設の事業所や工場に、設計思想を共有するビジョンを持っています。60年持たせる建物の維持管理とともに、「ネグロス電工のスタンダード」を確立し、メンテナンスや改修がしやすく、従業員が働きやすい職場環境づくりを追求します。

ENVIRONMENT

ネグロス電工、
SDGs宣言を発表

～創業の精神、利他主義に基づいたSDGs宣言～



ネグロス電工のSDGs宣言

創業の精神である利他主義に基づき、
ものづくりを通じて持続可能な社会の構築に貢献します

2022年4月、ネグロス電工では、「2030年の世界のあるべき姿」へ向けて、SDGs宣言を発表しました。
6つのテーマに沿ってさまざまなアクションプランを策定し、着実な実施に取り組んでまいります。

ネグロス電工 アクションプラン



当社は2022年4月にSDGs宣言を発表いたしました。
2015年に国連で採択された世界共通の目標であるSDGs。当社の中期経営計画にも「SDGs経営の推進」を掲げており、創業の精神である「利他主義」の考え方にも共通するものとして改めて当社の進むべき方向性を思案し掘り下げることできた宣言となりました。

ネグロス電工SDGs宣言は「文化的で豊かなくらしの提供」「安心安全に暮らせる街づくり」「環境へ配慮した持続可能な社会の実現」を念頭に、2030年までにネグロス

電工がめざす6つのテーマに沿ったアクションプランを掲げており、日本国内だけに留まらずASEANまでを視野に入れたグローバルな目標になっています。

ASEANにはまだまだ無電化地域が少なくありません。暗闇が広がっている地域が多く、その状況がそのまま、教育の差、医療の差、貧富の差に繋がっています。インフラを支える企業として、当社が長年積み重ねてきた経験を、日本だけでなくさまざまな国でもっと多くの人々のために役立てたいという気持ちが込められています。

ENVIRONMENT

ネグロス電工、
「環境ビジョン」を発表

～取り組み強化のため2021年10月28日策定～



環境ビジョン

「持続可能な社会の実現のために地球環境への
負荷を最小限にする取り組みに挑戦を続けます」

達成目標① 「2040年までに梱包資材をリサイクル可能材料にします」
達成目標② 「2040年までにCO₂排出量を50%削減します」

できるところから、全社員で着実に実践を図ります

このたび当社が新たに策定した「環境ビジョン」では、マイクロプラスチック問題と温室効果ガスの削減に貢献することが具体的な目標となっています。会社としては、コストがかかっても、一つひとつの施策を着実に実践し、未来の社会に実りある価値を届けていく所存です。そのためにも、社員全員で同じ方向を向いて、できるところから少しずつでも実践していくことが重要です。具体的に言えば、社内ではペットボトル・キャップのリサイクルや衣類の再利用、ペーパーレス化など、また社員の各家庭ではゴミ

環境管理委員会委員長
(製造企画部部長、
第三製造部部長兼任)

内山 浩二



分別の徹底などが焦点になるでしょう。

少数の人が100%の大きなプロジェクトに取り組むよりも、数%の小さなことでも大勢で実行する方が、全体的な効果が大きくなります。環境管理委員会では、全社員が環境への取り組みを日常的に継続していただけるように、定着に努めてまいります。

取り組み強化のため「環境ビジョン」を策定

現在はSDGsが注目を集め、テレビや雑誌などさまざまな媒体で目にするようになりました。その中でも環境は、SDGsの中核をなすものとして重要視されています。こうした世の中のSDGsに先立ち、当社は環境負荷を低減する活動を長期にわたって継続しており、照明のLED化や空調設備の効率化などを推進して「エネルギー消費原単位」年平均1%以上の改善に取り組んできました。2009年には環境管理委員会を設けてRoHS指令(特定有害物質の使用を制限するEUの法律)への対応に注力し、2012年には環境への取り組みをさらに強化するため「環境理念・環境方針」を定めています。

その後世界では、2015年に国連で「2030アジェンダ」が採択され、翌年にはCOP21で合意されたパリ協定が発効され温室効果ガス抑制に向けて動き出しています。このような状況を踏まえ、当社は2021年10月28日、一連の環境活動をさらに深化させるべく、「環境ビジョン」を策定しました。

環境に配慮したエネルギー
「グリーン電力」を使用した取り組み

グリーン電力は、太陽光、風力、バイオマス、水力、地熱など、地球環境への負荷が少ない自然エネルギーで発電されたエコな電気です。CO₂の排出が極めて少ないことで地球温暖化の防止と枯渇しないエネルギーといった価値をあわせもっています。「ネグロスタイムズ2022」はグリーン電力を使用して印刷しています。



SOCIETY

世代・国境を越えて「ネグロス島プロジェクト」

～支援の3本柱～



当社は、フィリピンのネグロス島の子どもたちを支援するため2020年11月に「ネグロス島プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、3つの支援活動を柱として展開しています。今回はそれぞれの活動内容について詳しくご紹介します。

奨学金プログラムによる教育支援

経済困難により学校に通えない子どもたちをサポートするための奨学金プログラムです。今年度も各小学校から推薦された10名に対し、奨学金授与式が執り行われました。この授与式には、当社もネグロス島とWEBを介して参加し、奨学金を受け取った子どもたちの喜びの声と希望に満ち溢れた晴れやかな表情を窺うことができました。

2021年12月に発生した台風22号の被害により、一時は延期を余儀なくされたこの授与式ですが、NPO法人IMAGINUSのスタッフによる災害支援活動や多くの寄付金によって徐々に復興が進み、こうして無事執り行われることができました。



仕事づくり事業で子どもたちをサポート

ネグロス島の子どもたちの家庭を収入面からサポートするための「仕事づくり事業」です。貧困に喘ぐ農村部に安定した仕事を作り、島民自らの手で基礎収入を上げることによって貧困の連鎖を断ち切り、教育を受けられる子どもたちの増加をめざしています。現在は、フィリピン特産のアバカ材を使ったバッグ製

作に加え、新しい生産品としてミサンガの製作にも着手しました。今後も設備の充実、スタッフの増員を進めていくことで、仕事の輪を広げていきたいと考えています。



寄宿舎事業で安全・安心な学びの場を提供

ネグロス島のへき地に住む子どもたちが、親元を離れ安心して生活し学ぶことができる場所を提供するために発足したのが、この「寄宿舎事業」です。ネグロス島には地理的要因や治安などを理由に学校に通いたくても通うことができない子どもたちが数多く存在します。そんな子どもたちの

ために、安心して生活を送りながら市街地の学校に通うことのできる寄宿舎を提供します。また、寄宿舎には地域社会やさまざまな学生と交流するコミュニティスペースも兼ね備え、創造的な活動や学習の場として活用するなどして、次世代を担う子どもたちを育ていける場にしていきたいと考えています。



コロナ感染対策～職域接種

当社では、新型コロナウイルス感染拡大防止策の一環として職域単位でのワクチン接種を実施しました。職域接種の取り組みを通じて、お客様や従業員をはじめとするステークホルダーに安全な職場環境を提供するとともに、コロナ感染の早期収束に寄与しています。



LIVE配信会議

新型コロナウイルス感染防止の観点から、従来では管理職社員が一堂に会する場であった会議体を見直し、全国11拠点(18会場)をリアルタイムで繋ぐLIVE配信による会議を開催しました。企画・運営から携わる初の試みでしたが、全国の各拠点がWEBで繋がり、滞りなく会議を進行することができました。



SOCIETY

「みどりの架け橋プロジェクト」でネグロス島を支援

～ミキファームの取り組みを繋ぐ架け橋～



みどりの架け橋プロジェクトとは、ネグロス島の子どもたちを支援する「ネグロス島プロジェクト」と、障がい者雇用を促進するためにスタートしたネグロス農園「ミキファーム」の2つのプロジェクトを繋ぐ架け橋として誕生しました。ミキファームで栽培した野菜を受け取った社員が、ミキファームで働く従業員にメッセージを送ることでポイントが付与され、そのポイントがネグロス島を支援する資金に繋がります。社員の思いや応援がネグロス島の未来へと繋がっていくとても素敵なプロジェクトです。

みどりの架け橋PJメッセージカード



ミキファーム(こども食堂やミー!)

ネグロス農園「ミキファーム」で栽培された野菜は、「こども食堂やミー!」に無償で提供しています。こども食堂とは、地域住民や自治体が主体となり、食事をとることができない子どもたちに対して無料もしくは少額で食事を提供する場のことです。これからも当社はこのような活動に賛同し、微力ながらも地域社会に貢献していきたいと考えています。こども食堂には今後も継続的に新鮮な野菜をお届けしていきます。

ウエスト・再度・ストーリープロジェクト

ネグロス島プロジェクトへの資金創出活動のひとつとして「ウエスト・再度・ストーリープロジェクト」を発足しました。ウエストは機械類の油や汚れ・不純物などを拭き取ってきれいにするために用いる布のことで、従業員が使用しなくなった衣類を回収・再利用してウエストの購入費用を削減し、節約できた費用をネグロス島プロジェクトの資金として運用しています。

働きながら学ぶ青少年を支える

2021年11月に「第69回 全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」が実施されました。本大会は、学生たちが学校生活を通して感じ、学んだ体験を発表し、多くの人々に感動と励ましを与える場となっています。当社は2011年より協賛企業の一社としてサポートしており、今後もこれからの明るい未来を創る学生たちを支えていきます。



ひとりでも多くの支援を～「ネグロス育英会」

1986年から発足した公益財団法人 ネグロス育英会は、今年で36周年を迎えます。ネグロス育英会は発足当時より、社会に寄与する人材の育成を目的としているため、返済義務のない「給付型奨学金」を採用しています。ひとりでも多くの学生が教育を受けられるよう、ネグロス育英会は今後も優秀な学生を支援していきます。

公益財団法人 ネグロス育英会
アクセスホームページ <https://negurosu-ikuei.jp/>

経営企画部
アーカイブ室
赤井 圭介

働く喜び



1 981年にネグロス電工へ入社し、製造部、品質保証部を経て2018年に定年を迎えました。現在は、2021年に立ち上げから携わってきた経営企画部アーカイブ室に勤務しています。アーカイブ室立ち上げの最初のメンバーとして声を掛けてもらい、その責任の重さや遣り甲斐のある仕事に大変光栄なことと思ひ、喜んでお手伝いさせていただくことにしました。アーカイブ室では、創業当初から現在までの当社の歴史をまとめています。

電 設業界には女性の営業が少ないため、訪問した際に覚えてくださることが多いです。自分がPRした商品をご購入いただけたり、施工後の現場を見せていただき「次の営業にも活かして」と応援の言葉をいただいた時にはやりがいを感じます。営業には女性の先輩がいないことで不安な時もありましたが、今後は私がロールモデルになれるよう成長していきたいと思っています。



自分らしく働く



営業本部 近畿営業部
大阪営業所
松田 実乃里

EMPLOYEES

社員の幸せのために ダイバーシティを推進

技術本部 設計部 設計三課
DÔ PHI LONG

私 は特注品の強度計算書や製作図を作成しています。設計部の皆さんからは、日本での生活や業務などについて色々なことを教えていただいています。コミュニケーションをとるために日本語がとても大切であると感じ、会社でもレッスンを受けさせてもらっており、帰宅後も勉強に励んでいます。元々設計の仕事に就きたかったこともあり、これからもネグロス電工で頑張りたいと思います。



日本の文化に触れて

～多様性を尊重しみんなが活躍できる環境づくりに取り組んでいます～



私 は耐震架台や太陽光架台の設計の仕事をしています。最初は、専門用語が多く分からないこともありましたが、上司や先輩から指導をいただき、今では徐々に理解できるようになりました。会社では週に3日、日本語レッスンがあり、言葉の使い方などを学ぶことができ、日本語を話すことに自信ができました。これからも、長く勤めていきたいと思っています。



言葉の壁を越えて

技術本部 設計部 設計二課
TRAN QUỐC HIÊN

障 がい者の方を指導するうえで気をつけていることは、繰り返しの単純作業に高い能力を発揮するなど、その人によって得意な作業が異なるため、周りから意見をいただきながら、個々の特性にあった仕事や指示の出し方をしていくことです。それぞれに与えられた仕事や残業も一生懸命行ってくれるので、なくてはならない存在となっています。

個々の特性を活かして



ネ グロス電工に入社して、学生時代の頃と変わったと感じます。かぜをひかなくなり、体調不良になることもなく、いつも元気で、1日も会社を休まずに仕事を頑張っています。また、上司や先輩に「残業できる?」と声をかけていただけると役に立っていることを実感うれしくなります。これからも、怪我もなく元気で、みんなの役に立てよう頑張っていきます。

製造本部 第一製造部 浦安工場
高橋 由将



子育てで広がる視野



製造本部 第一製造部
浦安工場
醍醐 智久

子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得

当社は、2021年に社員の持つ多様な価値観に応じた働き方をサポートするために厚生労働省より「くるみん認定」を取得しました。



2 人目の出産が双子となり、妻とも話し合って育児休暇を取ることになりました。会社の仕事には勤務時間がありますが、育児にその概念はありません。妻を助けながら自身の心身をコントロールして育児をこなすことがいかに難しいかを身をもって体験しました。仕事に復帰してからも同様で、自身や同僚に困ったことがあれば一人で抱え込むことがないよう、何事も相談しながら進めていくことを心掛けています。今回の育児休暇を経て、育児のコツだけに留まらないさまざまなことを学ぶことができたと感じています。

育 児休業からの復職後、ほぼ月1回の出勤日以外はテレワークで勤務しています。通勤時間や昼休みを家事や子どもとの時間に使えるので、時短勤務ではなくフルタイム勤務を維持することができます。勤務時間中は部署内の全員が常にZoomにログインし、チャットや通話でコミュニケーションをとっています。自分のタイミングで投げかけができ、履歴も残るので、出社しているときよりも効率良く仕事ができています。

経営企画部
法務課
河面 幸



仕事も育児も



業務管理部 人材支援室
税田 亜紀恵



前職の経験を活かして

前 職では、食品製造会社の商品企画・マーケティング部門でリーダーを任されていました。東京への転勤で、価値観の多様性を感じ、新しいことにチャレンジしたいと思い転職しました。当社では、今までの経験や資格を活かし、メンタルヘルスケア推進のため、人材支援室を強化していきます。制度や体制など整備すべきこともたくさん見えてきました。必要なことを一つひとつクリアして、頼られる存在になっていきたいと思っています。

CORPORATE DATA

【コーポレートデータ】

社名	ネグロス電工株式会社	加入団体	全日本電設資材卸業協同組合連合会 (順不同・敬称略)
創業	1947年(昭和22年)6月1日		全日本電気工事業工業組合連合会
設立	1953年(昭和28年)10月1日		東京商工会議所
代表者	代表取締役社長 菅谷 三樹生		公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会 東京都支部
本社	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-40-1 TEL: 03-5628-7111		一般社団法人 日本電設工業協会
本店	東京都江戸川区中央1-3-5		一般社団法人 日本建築学会
従業員数	1,449名(2022年4月現在)		一般社団法人 日本空調衛生工事業協会
事業内容	電気・空衛設備資材の製品開発・製造・販売(卸)		一般社団法人 東京電業協会
主要製品	ケーブルラック、レースウェイ、パイラック ほか		一般社団法人 電気設備学会
			一般社団法人 埼玉県電業協会
			一般社団法人 建設電気技術協会
			一般社団法人 茨城県電設業協会
			一般財団法人 流通システム開発センター

【グループ会社(五十音順)】

株式会社古西電機	五洋電設株式会社	トヨタ工業株式会社	ファイアーランス工業株式会社
【本店】 〒140-8678 東京都品川区南品川2-16-6	〒132-0021 東京都江戸川区中央1-3-5	【本社・流通センター】 〒132-0025 東京都江戸川区松江5-10-16	【本部】 〒132-0025 東京都江戸川区松江2-27-11
【大阪営業所】 〒555-0021 大阪府大阪市西淀川区 歌島2-12-28	株式会社東亜商会	ネグロス空調株式会社	【関西営業所】 〒552-0016 大阪府大阪市港区三先2-12-19
【鹿島営業所】 〒314-0022 茨城県鹿嶋市長栖1879	【本店】 〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1-18-35		【仙台営業所】 〒984-0056 宮城県仙台市若林区成田町61-1
	【名古屋支店】 〒452-0942 愛知県清須市清洲田中町45		【名古屋営業所】 〒464-0075 愛知県名古屋市千種区内山2-14-21

グループ会社連絡会レポート

ネグロスグループの事業基盤強化と、シナジー効果の実現に向けた連携を深めるために定例会議を開催。グループ全体の利益最大化を推進しております。

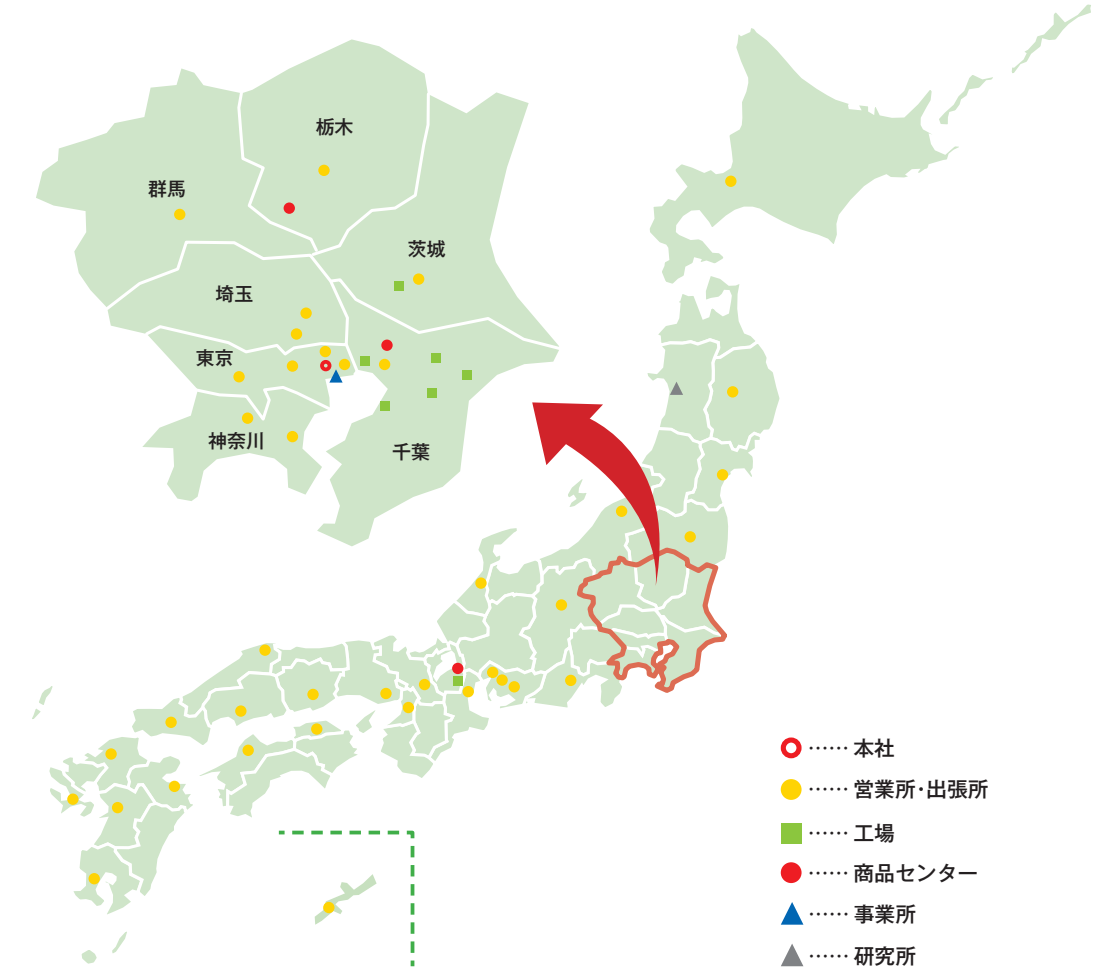
グループ会社連絡会(2021年6月15日開催)



【拠点一覧】



ホーチミン駐在員事務所(ベトナム)



本社(亀戸ビル)



営業所(東京中央)



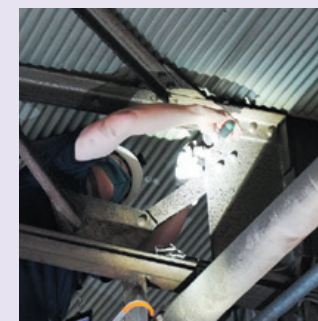
工場(市原第一)



商品センター(佐野)

TOPIC

おかえりなさいアングラックA-1型



67年前、メーカーへの転機となる電気工事が初めて行われた現場から古い製品が見つかりました。創業者自らが施工したと思われるとても貴重なアングラックは鋳物製。当時のノブ碍子もそのままついています。



編集後記

ネグロスタイムズ3rd issueはお楽しみいただけましたでしょうか。

企業に社会的責任(CSR)が求められるなか、今号でも私たちが推進している「ネグロス電工のSDGs」をさまざまな活動を通じてご紹介させていただくことができました。この冊子を通じて少しでも当社の取り組みに関心を持っていただくことができたなら大変光栄です。これからも皆さまのご期待に添えるよう邁進してまいります。

最後までお読みいただきありがとうございました。

ネグロスタイムズ
編集スタッフ一同

*Thank you
for Reading!*